

令和4年度
社会福祉法人羽地福祉会
小規模保育園みなど
事業報告

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の緩和を受け、安全対策を講じながら年度後半には保護者を招いて運動会と夏フェスタ、クリスマスパーティーを開催することができました。目の前で楽しく踊ったり頑張る子ども達の姿に涙する保護者もおり、子ども達の成長を共に感じ共有することが出来たことに、イベント開催の重要性を改めて感じました。イベントのみでなく、保護者との日々の会話も大切にし、小さな成長も伝えていく中で、今まで以上に子ども達の成長をサポートするパートナーとなれるよう今後も努めてまいります。

保育業界について、令和4年度は痛ましい事件事故がメディアで報道されました。職員一人ひとりの保育を見つめ直す事を目的とし、保育士等のセルフチェックリストを用いて、自分自身の評価を可視化する事を行いました。子ども達への関わり方を改めて考える機会を設け、子ども達が日々楽しいと思える環境作りを今後も継続して行ってまいります。また、園外保育においても、引率人数の増員や節目での人数確認、周辺的安全確認の実施を習慣化し、子ども達の安全確保の徹底を図りました。今後も職員間での連携と共通認識を行い、子ども達の安全を第一に考えた保育を展開してまいります。

職場環境においては、ワンフロアの利点を活かし、担任間だけでなく常に全体で情報共有を行うことで自然と会話が増え、保護者への伝達もスムーズになりました。今後も職員同士の会話も大切にし、互いにカバーし合える体制と働きやすい職場環境の構築を図ってまいります。

次年度も、保護者との会話や職員間のコミュニケーションを大切にし、またこれまで十分に行えなかった地域との関りも多く持てるような活動を行ってまいります。子ども達の成長を保護者、地域、保育園の三者で共に行い、常に笑顔と明るい笑い声が響く保育に努めてまいります。